

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2008
平成20年

10.15

目次

輝きネット・あいちの技人 「伝えたい伝統の技と味」	2
赤羽根道の駅 仮称 愛称募集 キャラクターマーク 愛称募集	3
童浦校区	4
学校教育「食育の取り組み」	5
たはらしティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

サシバを探して
岬へ冒険だ！





師匠と慕う河合みさをさん(和地町・左から2人目)からレシピを教わる、技人の皆さん。「郷土の料理を忘れないように伝えていきたい」と話します。左から、渡会美智子さん(中山町)、中川美代子さん(小中山町)、廣中八重子さん(馬伏町)。

* 技人についてのお問い合わせは
 東三河農林水産事務所 田原農業改良普及課まで
 ☎22局0381



黒皮の農休みまんじゅう

「技人」とは農業や暮らしの達人
 「技人」とは、優れた農業や暮らしの技術を培い、それらを伝承できる方が農村輝きネット・あいち会長から認定されるもので、現在田原市では、10名の技人が郷土料理の講座や勉強会などを行っています。今回ご紹介する、農休みまんじゅうのレシピは、この技人の皆さんから教わったものです。皆さんもぜひ作ってみてはいかがでしょうか。

伝えたい 伝統の技と味

いよいよ食欲の秋がやってきました。今回の市民の広場では、市民の皆さんからの、郷土料理のレシピを紹介して、「の声にお応えして」農休みまんじゅうの作り方と郷土料理を伝承する輝きネット・あいちの技人をご紹介します。



農休みまんじゅう

田植え後の疲れを取るための農休みに食べられたり、子どものおやつとして作られたりした郷土料理の一つです。

材料 黒皮のもの(5個分)

- 小麦粉: 150g ・ 水: 60cc ・ 重曹: 3g
- 黒砂糖: 60g ・ あんこ: 100g
- サルトリイバラの葉: 5枚
- (なければハランの葉でもよい)
- 白皮のものは、水60ccのところを、水20ccと酢40ccにして、黒砂糖を白砂糖に。

作り方

- あんこを適当な大きさに丸める。
- 黒砂糖を少量の水で溶き、重曹を加える。
- 小麦粉に、で溶いた黒砂糖を入れ、水を加えながら耳たぶのかたさ程度に練る。
- 丸めたあんこを、できた皮で包み、サルトリイバラの葉にのせて、蒸し器で10〜15分程度蒸す。
- 白皮のものは、とは黒皮のものと同様に、小麦粉に白砂糖をまぜる。で重曹・酢・水を入れ、耳たぶのかたさ程度に練る。
- * ポイントは、水を少しずつ加えること。



サルトリイバラ

募集

「道の駅」赤羽根(仮称)の愛称 キャラクターマークの愛称

キャラクターマーク決定

平成21年3月下旬に赤羽根漁港口コパーク前にオープン予定の「道の駅」赤羽根(仮称)のキャラクターマーク募集に120点の応募がありました。

選考の結果、田中博士(ひら)さん(豊橋市石巻町)の作品に決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。



みんな、ボクに名前を付けてね!

制作の意図
服は赤羽根の「A」を、服のブルーは海を、白は砂浜を、黄は菜の花を、緑は農作物を、メロン形の頭は赤海亀の甲羅を表しています。サーフィンが好きな元気いっぱいイメージです。

あなたも名付け親に!

「田原めつくんはつす」伊良湖クリスタルポルト」に続く市内3番目の

「道の駅」赤羽根(仮称)の愛称とキャラクターマーク

の愛称を募集します。親しみやすく覚えやすい愛称をお待ちしています。皆さんぜひご応募ください。

「応募要領」
応募資格
どなたでも・1人何点でも
応募方法
応募用紙または、はがきに「郵便番号」「住所」「氏名」「年齢」「性別」「職業」「電話番号」と「愛称」どちらの愛称か明記し、「愛称を付けた理由」を記入のうえ、郵送・ファックス・Eメール・直接持参にて/応募用紙1枚・はがき1通につき1点



応募先

いずれも田原市役所商工観光課あて

「郵送」〒441-3492(住所不要)

「ファックス」22局3817

「Eメール」tsokoko@cityaharaini.jp

「直接持参」商工観光課、赤羽根支所、渥美支所、田原めつくんはつす、伊良湖クリスタルポルト

締め切り 11月14日(金) 当日消印有効

採用・賞 採用作品各1点・賞品あり

同応募複数の場合は抽選といたします。

注意事項

未発表で共同作品でないものに限る/採用作品の一切の権利は田原市に帰属

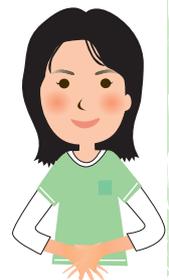
採用された方の氏名および市町村名までは公表する場合があります。

応募用紙は、商工観光課 赤羽根支所、渥美支所、田原めつくんはつす、伊良湖クリスタルポルトにあります。

商工観光課 ☎ 23局3516



広報サポーター カメラリポート



柳原由美

*素潜り名人河合一郎さん(越戸町)

素潜りの名人、河合一郎さん。

越戸の海で、カキ、ワカメ、アワビ、タコなどを捕っています。

本日はタコ、エイをゲット!!

「エイの肝は、豚や牛のレバーと違い、コレステロールがなく健康にいいよ。身は刺身でも煮て食べてもいい。ヒレは干物にして、酒の肴に。」と河合さんが教えてくれました。

新鮮な海の

幸を目の前にして、改めて豊かな自然に感謝します。



基礎データ

- 【人口】6,917人(H20.9.30現在)
- 【世帯】2,850世帯(H20.9.30現在)
- 【面積】約2,267ha
- 【公共施設】北部保育園・山北保育園・童浦小学校
・緑が浜公園・白谷海浜公園・シェルマよしご
・エコパーク・蔵王山展望台・姫島漁港
- 【史跡】吉胡貝塚
- 【主な産業】工業(臨海工業地帯)・農業・漁業



童浦

校区自己紹介

ひめしま
姫島



校区の特色

童浦校区は田原市の北東部に位置し、周囲を臨海工業地帯や三河湾、汐川干潟などに囲まれており、市内では比較的独立した地理条件にある。また、三河港大橋により豊橋方面と結ばれ、田原市全体の玄関口ともなっている。

自然環境の恵みにより、半農半漁が中心の地域であったが、臨海工業地帯への企業進出により、住宅開発や区画整理などが進み、環境が大きく変わっている。専業農家が減り、勤労者世帯が増え、校区内の11地区のうち6地区が近年新たに加わり、人口比率でも半数を超えるなど、市内で最も変貌を遂げた地域といえる。また、人口・世帯数・児童数とも、田原市最大の校区である。

ふれあい活動行事

「市民館まつり」をはじめとして、「防災・防犯フェア」「納涼夏まつり(盆おどり)」「だでのん笠山まつり(童浦小学校)」「童浦校区スポーツ大会(ミニバレー、タスポニー、ドッジビー、ゲートボール)」「童浦小学校茶園事業(健全育成会・PTA)」などを行っている。

長い歴史を持つ茶園事業



童浦小学校の茶園事業は、長い歴史と地域伝統産業に培われた特色ある事業で、戦時中の昭和18年、蔵王山麓北側の開墾を起源とする。

平成17年度には、お茶の木の老木化に伴い、茶園再生事業委員会を立ち上げ、校区住民から再生事業基金の募金活動を行い、平成18年3月に、卒業生と保護者、健全育成会、PTA役員など多くの人たちの手により3000本の苗木を

植樹した。その後の育成管理作業は、学校の体験学習や、校区関係団体・組織の協力により続けられ、今年の4月には、新茶の初摘みを「若葉集会」として行うことができた。

この茶園事業の活動を通じ、児童と保護者が一緒に自然と農業に親しむ機会をつくるとともに、学校と地域とのふれあいの場となるよう努めている。

校区の新しい顔

縄文時代の貝塚で国指定史跡でもある吉胡貝塚に、平成19年、史跡公園が開設された。発掘資料が展示されている資料館では、模型、写真などで縄文人の暮らしを分かりやすく学ぶことができるほか、2階には体験学習室もある。



また、外の公園では広々とした丘をゆったり散策でき、来訪者の憩いの場となっている。

(文:童浦校区)





学校は、今...

SCHOOL REPORT ③

食育の取り組み

田原市の学校では、地域の方との交流を深めながら食育への取り組みを行っています。今回は、赤羽根小学校、野田小学校、堀切小学校の取り組みをご紹介します。 ●指導課 ☎ 23局 3679



▶ランチルームで招待給食

食育は、楽しくおいしい給食の時間から

【赤羽根小学校】

ランチルームでの「なかよし給食」では、保護者や地域の方を招待し、和やかな雰囲気の中で会話をはずませながら、楽しい給食の時間を過ごしています。栄養教諭が毎日発行する「らん・らん・らんち」を参考に、食品の栄養や由来、マナーや偏食などについて学んでいます。



▶地域の方との梅干し作り

地産地消で、心も体も元気いっぱい！

【赤羽根小学校】

地域の方と中学生や小学生が一緒になって、地元で採れた梅で梅干しを作りました。楽しみながら作ることで、地域への愛着が増してきました。郷土料理や栽培活動の指導を通して、地域の方と直接話をすることで、感謝の心も育まれました。



▶親子でもちつき

心おどる 心つなげる 心ひろげる

【野田小学校】

保護者や地域の方と一緒にやるもちつきには格別の楽しさがあり、「野田小フェスティバル」を盛り上げています。フェスティバル当日は、4月から栽培してきた作物について、各学年で調べたことや栽培の様子、調理方法などをクイズや劇にして発表します。食の大切さを学ぶ良い機会となっています。



▶自分たちで育てたそばの収穫

そばの栽培活動を中心に食育を広げる

【堀切小学校】

「食育フォーラム」で、4年生は自分たちで育てたそばの実を使い、みそ味とあんこ味のそば団子を作って地域の方に食べてもらいました。「おいしいよ。」の声に、「栽培や収穫は大変だったけど、やってよかった。」と思いました。また、そば打ち体験も行い、自分たちで育てたそばのおいしさに感動しました。

9月28日

美しい表浜を
いつまでも

大草から久美原までの太平洋岸で、表浜自然ふれあいフェスティバルが開催されました。地域の方を中心に、約3000名が清掃活動を行いました。大草海岸では、地元の農産物を味わう鍋などがふるまわれたほか、ビーチフラッグス大会も行われました。



砂浜の上で繰り広げられた熱き戦い。フラッグを目指してまっくら！

9月30日

考えよう！
“ため池”の大切さ

ため池の役割や必要性を地域の子どもたちにも知ってもらうイベント、「ため池保全推進事業 ため池の底力 みんなで再発見！」が開催されました。神戸大池の池干し作業を見学した神戸小学校の4年生は、楽しみながらため池の役割について学びました。



農業だけでなく、生き物たちにとっても“ため池”って必要なんだね。

10月1日

期待を背負い
世界の波に挑む

10月中旬にポルトガルで開催されるサーフィン世界選手権大会に出場する地元出身のサーファー・増山裕亮さん（田原町）が、市役所を訪れました。増山さんは、ほかに選ばれた3名の日本代表選手とともに、世界各国から集う強豪たちに挑みます。



「上位を目指す」と意気込む増山さんを市長（左）が激励。

田原市民活動支援センターのページ

市民活動支援センターは、みんなの身近な情報GET & 発信の場所です。
この号では、たはら国際交流協会 (TIA) から寄せられた情報原稿を紹介します!

たはら国際交流協会 (Tahara International Association = TIA) は、
さまざまな活動を通じて世界の人々と交流を行っています。その活動の一つに語学教室があります。
年間を通じて行われている「にほんご教室」では、同じ地域に住む外国出身の方々とボランティアとが
日本語を学びながら交流を続けています。

TIAの 語学教室

現在、「初級中国語教室」(全10回)、「シニアのための初級英会話教室」(全6回)が好評にて
開催中です。また、「にほんご教室」の他、今年から市生涯学習課の委託を受け、下記の3つの
英会話教室も行われます。あなたも世界につながる言葉を学んでみませんか。

外国人のためのにほんご教室

毎週金曜日 午後7時半～9時
毎週日曜日 午前10時～12時
田原福祉センター ボランティアルーム
対象:日本語が母語でない外国の方
内容:ボランティアスタッフと対話形式で
楽しく日本語を学びます。

初級英会話教室(渥美教室)

11月5日～12月10日
毎週水曜日(全6回・無料)
午後7時半～9時
渥美文化会館 大会議室
対象:中学2年生～(25名)
講師:ネイサン・カペジさん

初級英会話教室(田原教室)

2009年1月28日～3月11日
毎週水曜日*祝日除く(全6回・無料)
講師:ジェニファー・ケネディさん

中級英会話教室(田原教室)

2009年2月～3月(予)
毎週木曜日(全6回・無料)
講師:ヴァネッサ・シェパードさん



今後の市民活動ニュース

11/3(月・祝)	わいわい話そう会 ～「知る」ことで始まり「共感」することで勇気がわきあがる～	あつみNPOネットワーク Tel:32-3963 携帯:090-4213-0596(森下)
11/9(日)	平成20年度 福祉のつどい	社会福祉法人 田原市社会福祉協議会 田原市赤石二丁目2番地 Tel:23-0610 Fax:23-3970
11/15(土)	どすごい交流会2008	田原市役所総務課 Tel:23-3506
11/15(土)	多文化共生社会をめざして —異文化体験を語る—	たはら国際交流協会 田原文化会館 Tel:22-2622(火～土 午後1～5時)
11/16(日)・12/14(日) ・1/18(日)・3/15(日)	田んぼの学校 子どものための体験プログラム	NPO法人 はつくるベリーじゃむ 田原市江比間町 Tel:34-1234

他、あいちモリコロ基金・助成金の募集期間は10/1(水)～10/31(金)です。資料は田原市民活動支援センターにあります。

市民活動支援センターは、2種類の紙媒体での情報誌を発行しています。

『市民活動だより(年4回発行・全戸回覧)』と、ニュースがメインのこの『センターのページ(毎月15日発行)』です。

皆さんからのあつあつニュースを待っています! ～持ち込み原稿の締切は毎月10日まで～

*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 総務課市民協働係 FAX: 0531-23-0180 Email: somu@city.tahara.aichi.jp

紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター



募集

WANTED

渥美図書館講座

「渥美の歴史・文学探訪」受講者

ふるさと「渥美」の歴史や文学を再発見してみませんか。郷土にゆかりのある文学についての講座を開催します。

日時 11月22日(土) 午後1時30分～3時30分
 場所 渥美文化会館大会議室
 内容 伊良湖誌作成の秘話 講師 小久保孝弘氏(伊良湖自治会長)
 定員 40名(先着順)
 受講料 無料 持ち物 筆記用具
 申し込み 10月21日(火)から11月20日(木)までに電話または直接渥美図書館カウンターにて

渥美図書館
 33局11114 FAX 34局1010

田原市市民大学(第1期)

受講者

田原市では、市民の皆さんが新たに「学ぶ」きっかけづくりのお手伝いとして、名古屋大学の協力により田原市市民大学を開催します。

日時・内容 表のとおり 場所 田原文化会館201会議室 定員 50名(先着順) 受講料 無料
 申し込み 11月20日(木)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号・希望講座名を明記)
 その他 複数受講可
 生涯学習課

23局3531 FAX 22局3811

syogaku@city.taharatchi.jp

田原市市民大学(第1期)

日時	内容
11月22日(土) 午後1時30分～	宇宙の現在・過去・未来 講師 杉山直氏(名古屋大学理学研究科教授)
11月29日(土) 午後1時30分～	文明の発生～考古学の最前線 講師 周藤芳幸氏(名古屋大学文学研究科教授)
12月7日(日) 午後1時30分～	宇宙創生のギリシア神話 講師 吉武純夫氏(名古屋大学文学研究科准教授)
12月13日(土) 午後1時30分～	伊勢湾・三河湾の海とそこにすむ生き物 講師 西川輝昭氏(名古屋大学博物館館長)

防犯ボランティア実践講座

受講者

犯罪情勢や防犯対策についての講習を開催します。防犯ボランティアで活躍中の方、防犯活動に関心のある方は、ぜひご参加ください。

日時 11月13日(木) 午後1時30分～5時
 場所 田原市役所南庁舎6階講堂
 内容 犯罪の現状・発生状況、防犯アドバイス、現在活動中の防犯活動団体紹介 講師 愛知県警、愛・地球ボランティアセンター職員 受講料 無料
 申し込み 11月12日(水)までに電話にて

23局3504 FAX 23局0180

総務課

法務局市民講座 受講者

対象 一般 日時・内容 10月23日(木) 午後2時～ / 遺言について 10月28日(火) 午後2時～ / 相続について 10月30日(木) 午後2時～ / 成年後見制度について
 場所 名古屋法務局豊橋支局6階会議室(豊橋市大國町・豊橋合同庁舎内) 定員 各40名(先着順)

受講料 無料 申し込み 直接または電話にて
 名古屋法務局豊橋支局総務課
 (0532)54局9278

ワークライフ・バランス推進セミナー 参加者

愛知県では少子高齢化の進展や価値観の多様化が進むなか、男女ともに充実した職業生活を営みながら豊かな家庭生活をおくることができるよう、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)をテーマにセミナーを開催します。

日時 11月17日(月) 午後2時～4時
 場所 東三河総合庁舎2階大会議室
 内容 パネルディスカッション、事例発表 定員 80名(先着順)
 申し込み 10月30日(木)までに電話またはFAXにて(FAXの場合は住所・氏名・電話番号を明記)

東三河県民事務所産業労働課
 (0532)54局2582
 FAX (0532)54局7239



生活

LIFE

放置自転車クリーンキャンペーン
11月1日(土)～30日(日)

自転車を放置しておく、街の景観が損なわれるだけでなく、事故や防災の側面でも問題になります。自転車置き場を利用して放置自転車をなくしましょう。また、自転車置き場に長期間放置されている自転車も多数あります。不要になった自転車は所有者が責任を持って処分し、自転車置き場を有効利用できるようにしましょう。

キャンペーン期間中には、市内の駅周辺の放置自転車の撤去を実施します。なお、撤去をする自転車には、あらかじめ警告札を貼りますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

総務課
23局3504 FAX 23局0180

標語

困りません！
自転車置きざり知らんぷり



法の日記念行事

無料法律相談・記念講演会

愛知県弁護士会東三河支部では「法の日記念行事」として、『無料法律相談』と『記念講演会』を開催します。

無料法律相談

日時 11月1日(土) 午後1時～3時
場所 豊橋商工会議所

記念講演会

日時 11月1日(土) 午後3時～
場所 豊橋商工会議所 テーマ
「さらば、おまかせ政治」地方から始まる平成の民権運動」

講師 北川正恭氏(早稲田大学大学院公共経営研究科教授) 定員

200名 参加料 無料
愛知県弁護士会東三河支部
(0532)52局5946

聞こえとことばに心配のある乳幼児の教育相談

豊橋聾学校では、聞こえとことばに心配のあるお子さんの教育相談を行っています。聴覚に障害のあるお子さんの指導は、早期に始めることが大切です。相談は無料です。電話での相談も受け付けていますので、

お気軽にご相談ください。

対象 聴覚障害乳幼児0～6歳
相談時間 毎週月～金曜日 午前9時～午後4時 場所 豊橋聾学校 豊橋市草間町字平東100番地

内容 聴力についての検査やことばの育て方の指導、補聴器使用の指導、養育についてのアドバイスなど
その他 小・中学生の聴力の相談にも応じます。

豊橋聾学校
(0532)45局2049
FAX (0532)47局7545

縦覧

INSPECTION FOR PUBLIC

豊橋渥美都市計画区域区分の変更案

市内の区域区分の変更案について縦覧します。なお、この都市計画の案について住民および利害関係人は愛知県に対して意見書を提出することができます。

区域 田原市の区域の一部(赤羽根町新笹および天神の一部) 縦覧時間 市役所執務時間中 縦覧場所 街づくり推進課および愛知県

建設部都市計画課 縦覧期間 11

月11日(火)～25日(火)
街づくり推進課

23局3523 FAX 23局0180

11/3 (月・祝) 田原市制施行5周年記念式典

田原市は、本年8月20日に市制施行5周年を迎えました。この5年間を振り返り、今後のさらなる発展を目指すため、次のとおり記念式典を行います。

式典では、市政に対して特に功労のあった方々を顕彰するほか、市民・事業者・行政が一体となり、地球温暖化防止対策を推進するため、「地球温暖化防止宣言」を行います。

日時 11月3日(月・祝) 午前9時～10時

場所 田原文化会館文化ホール

担当課 広報秘書課 22局0138 FAX 23局1691



広がる未来へ

またはらエコ・ガーデンシティ構想

30

温暖化防止に向けて

田 原市では、2010年の運輸部門の二酸化炭素排出量は1990年度と比べて増加が見込まれています。

田原市の自動車の保有台数は一世帯あたり約3台です。車の保有台数が多い田原市だからこそ、一人ひとりがエコドライブに取り組み、より多くの二酸化炭素の排出削減が期待できます。



エコドライブ 10のすすめ

ふんわりアクセルeスタート

緩やかな発進（最初の5秒で時速20キロ）をすると、約10%燃費が良くなります。

加減速の少ない運転

早めのアクセルオフ

エアコンの使用を控えめに

アイドリングストップ

10分間のアイドリングでも1300ccの燃料を浪費します。

暖機運転は控えめに

道路交通情報の活用

道に迷って10分余計に走行すると約14%燃費が悪化します。

タイヤの空気圧をチェック

不要な荷物は積まずに走行

駐車場にも注意

歩行者や他の車の交通の妨げにならない場所に停めましょう。

その他

・低燃費車両などの導入を検討しましょう。

・共同配送など（産業部門）を実施し、積載率向上を図りましょう。

今月のエコライフ標語

「もったいない」
その一言が エコライフ



ハイブリッド車や電気自動車などの低公害車の購入には、市の補助制度があります。

エコエネ推進室

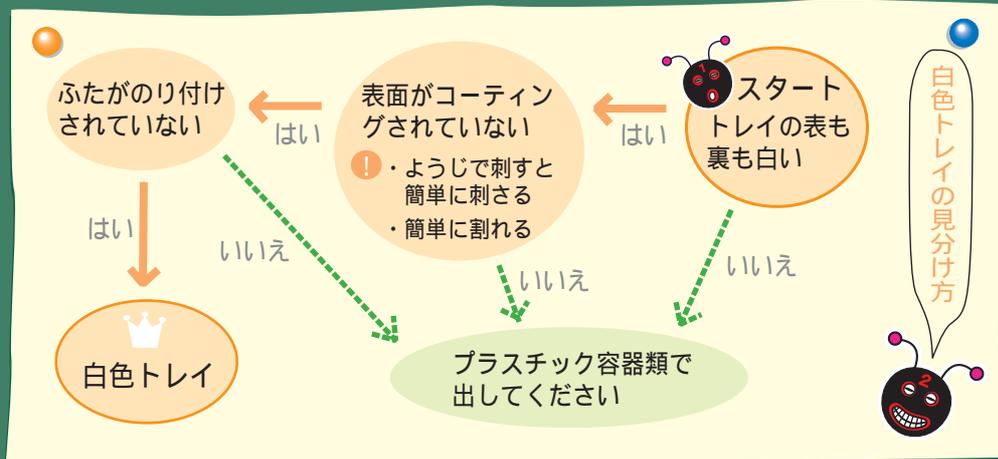
23局7401 FAX 22局3817



省資源とリサイクル

白色のトレイでも、白色トレイで出せないものがあって、分別が難しいですね。今回は、白色トレイの見分け方をお知らせします。

白色トレイの見分け方



白色トレイって？

白色トレイは、白色の発泡スチロール製食品用トレイのことをいいます。肉、魚、惣菜などを入れたもの(皿)が対象です。汚れを落としてから出しましょう。

PSこのリサイクルマークが目印です。汚れの落ちないものは、もやせるごみで出してください。

白色のトレイでも、発泡トレイでないプラスチック製のものは、プラスチック容器類になります。



清掃管理課
23局3538
FAX 22局3817



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

交流通信



このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

企画課 23局3507

友好都市 長野県・宮田村との交流

平成11年に友好提携を結んだ長野県・宮田村からメッセージが届きましたのでご紹介します。

10月26日(日)に、
はなのき広場で会いましょう!

今年も「第6回田原市民まつり」の会場で、田原市の皆さんに秋の味覚をお届けします。恒例のりんごをはじめ、ジャムやジュースなども販売しますので、ぜひお越しください。また、ステージでの「信州梅が里宮田太鼓」による太鼓演奏もお楽しみください。



宮田のりんごはおいしいよ~!

この辺りでは手に入らないものばかり!

宮田村名物を、ぜひ一度お試しください!

「ソースかつ丼のタレ」や「山ぶどうを使ったワイン」、「りんごドレッシング」などの「宮田村名物」が、田原市内で手に入るようになりました。現在、田原めっくんはうすで販売しています。田原市の皆さん、ぜひ一度「宮田村の味」を試してみてください。



忍びよる巨大地震

のりんの防災まめ知識

11月9日(日) 田原市自主防災会一斉防災訓練

41

こんにちは、のりんです。

11月9日(日)自主防災会の防災訓練が、市内の各集会所などで一斉に

実施されます。各自治会で組織されている自主防災会を中心に、地域の実情に合わせた訓練が、地域ぐるみで行われます。皆さんも自分の地区の防災訓練に、ぜひご参加ください。

テーマは「日常生活の中での災害対応」

災害は、私たちが普通に生活しているときに突然発生するかもしれません。そのようなときでも対応できるように行われる訓練です。

当日は「避難訓練」からスタート

市内放送用スピーカーからサイレン・放送が流れたら、非常持出袋を持って、各地区で定められた集合場所に徒歩で避難してください。集合場所で隣近所の方たちと安否を確認し合ったら、それぞれの訓練に参加してください。

被災者ゼロを目標に

突発的な自然災害(地震)が発生したとき、自主防災会がすぐに

人命救助・救出活動を行え

たり、地区・

校区の皆さんが協力して行動できたりすることにより、被災者ゼロを目指します。訓練を通して、自分の役割や、自分はどう行動すればいいのかなどを確認しましょう。

防災対策室 23局3548

田原市自主防災会 一斉防災訓練

11月9日(日) 午前7時~9時
地区によって異なる場合があります。

当日朝7時、市内放送用スピーカーからサイレンを流し、訓練開始と避難についての放送をします。



歴史探訪

クラブ

其の
91



History Inquiry Club

文化振興課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

新しく指定された文化財
「新美古墳のなぞ」

平成20年6月30日付けで、西神戸町の新美古墳が市の指定史跡となりました。指定に先立つ発掘調査で、周囲に溝が掘りめぐらされた推定直径約20mの円墳であることが確認され、藤原1号墳（中山町）、栄巖1号墳・城宝寺古墳・神明社古墳（田原町）、籠池古墳（大久保町）と並ぶ大きさであることがわかりました。また、これまでの調査や、見つかった遺物の年代から、6世紀後半に作られ、7世紀前半まで使われた古墳で

あることもわかっていきます。

渥美半島の古墳の特徴には、遺体を葬るための横穴石室（石の部屋）があり、古墳時代の中心地であった近畿地方の影響が見られます。このような横から入る石室が作られるようになったのは古墳時代の終わりのころで、1400年前のことです。

渥美半島を代表する新美古墳にもやはり近畿地方の影響が見られます。新美古墳の石室は全長8mもあり、す。しかし、新美古墳の周辺には、石室を作るのに適した大きさの石がありません。少なくとも、1.5km離れた山のすその辺りまで行かないと確保できません。新美古墳に使われた一番大きな石の重さは、3トンはあったと思われ、運ぶのは大変だったでしょう。そして、この苦勞して運んだ石で、当時の最も流行していた近畿地方風の石室を作ったのです。

特に面白いと思っ たことは、石室の材料に石灰岩をたくさん使っていることで



新美古墳の石室（白く見えるのが石灰岩）

す。石灰岩は白谷を中心に藤七原でも産出していますが、石材を見ると表面がすべすべしている、割った石ではなく、山や海岸から拾ってきた石なのでしょう。そして、その運搬は陸路ではなく、船を使って白谷海岸から汐川経由で運ばれてきたと思われ、渥美半島で最も手に入れやすい石はチャートと呼ばれるもので、渥美半島の山のいたるところで見ることができます。あえて、数が少なく遠い場所にある石を選んだのはなぜでしょうか？石灰岩の白色に引かれるものがあつたのか、それともその場所にある石が大事だったのでしょうか？

藤原古墳については、佐久島およ



藤原古墳で使われた花崗岩

び幡豆あたりの石材を使っています。おそらく船で運んだのでしょう。

いずれにせよ、この両古墳を作った人たちは、何かにこだわって選んだ石を、船を使うなど苦勞して運んでいました。そのなぞを解くキーワードは海ではないでしょうか。（増山）

近畿地方の特長は、遺体を納める部屋と、その部屋に続く道とを意図的に区別して石が積まれた構造となっています。

今月の「表紙」

伊良湖岬に渡りの季節がやってきました。9月下旬から10月中旬にかけて、サシバ（タカ的一种）などの渡り鳥が海を渡っていきます。恋路ヶ浜には、カメラや双眼鏡などを持ったバードウォッチャーたちがいっぱい。私もサシバが力強く羽ばたいていく姿に、パワーをもらいました。（〇）

【表紙の写真】恋路ヶ浜